
全国高等専門学校

第29回プログラミングコンテスト

本選実施要項(参加要項)

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

課題部門・自由部門・競技部門については9月7日(金)締切及び10月17日(水)締切、競技アイデア募集企画については10月17日(水)締切で提出いただきたい書類等がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。

また、本選時にはこの資料を必ずお持ちください。

全国高等専門学校 第29回プログラミングコンテスト委員会

全国高等専門学校 第 29 回プログラミングコンテスト
本選実施要項(参加要項)

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通).....	1
1.1 主催・共催・後援・協賛・役員.....	1
1.2 参加者.....	2
1.3 審査委員.....	2
1.4 会場案内.....	3
1.5 日程.....	4
1.6 提出書類等.....	5
[1] 9月7日(金)締切分.....	5
[2] 10月17日(水)締切分.....	6
1.7 知的財産権の侵害について.....	7
1.8 著作物等の扱いについて.....	7
1.9 表彰について.....	8
1.10 宿泊・昼食・情報交換会及び会場への交通.....	9
1.11 学生交流企画について.....	9
1.12 会場使用上の注意点について.....	9
1.13 その他の注意事項.....	9
1.14 問い合わせ先.....	10
2. 課題・自由部門・競技アイデア募集企画についての連絡事項.....	10
2.1 システムの搬入・搬出について.....	10
2.2 プレゼンテーションについて.....	10
2.3 デモンストレーションについて.....	11
2.4 本選審査手順について.....	14
3. 競技部門についての連絡事項.....	15
3.1 組み合わせ.....	15
3.2 競技進行の概要.....	15
3.3 競技部門の賞.....	15
3.4 予行演習.....	15
3.5 機材の搬送について.....	15
3.6 注意事項.....	15

付録 1 会場案内図

付録 2 交通案内

付録 3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル

付録 4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル

付録 5 ブースの配置と展示スペースの概略寸法

付録 6 デモンストレーション審査, マニュアル審査のタイムテーブル

付録 7 競技組み合わせ

別紙資料 1 課題・自由・競技部門 同意書

別紙資料 2 課題・自由部門 パンフレット執筆要項

別紙資料 3 課題・自由部門 プログラムソースリスト表紙例

別紙資料 4 課題・自由部門 操作マニュアル表紙例

別紙資料 5 課題・自由部門 チェックリスト

別紙資料 6 競技部門 パンフレット執筆要項

別紙資料 7 競技部門 プログラムソースリスト表紙例

別紙資料 8 競技部門 システム詳細説明書

別紙資料 9 競技部門 チェックリスト

別紙資料 10 競技アイデア募集企画 同意書

別紙資料 11 第2回名刺クエスト実施のご案内

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通)

1.1 主催・共催・後援・協賛・役員

主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会

共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会(NAPROCK)

後 援 文部科学省, 総務省, 経済産業省, 警察庁, 徳島県, 徳島県教育委員会, 徳島市, 阿南市, 小松島市, 牟岐町, 徳島市教育委員会, 阿南市教育委員会, 徳島商工会議所, 阿南商工会議所, 小松島商工会議所, 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会, 一般社団法人情報処理学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 一般社団法人教育システム情報学会, 国立研究開発法人情報通信研究機構, オープンデータ流通推進コンソーシアム, 株式会社BCN, NHK, 四国放送, 徳島新聞社, 朝日新聞社, 読売新聞社, 毎日新聞社, 日刊工業新聞社, 株式会社徳島銀行, 阿南工業高等専門学校後援会, 阿南工業高等専門学校同窓会, 阿南工業高等専門学校助成会

産学連携協賛 東芝デジタルソリューションズ(株), チームラボ(株), (同)DMM.com, (株)セゾン情報システムズ, (株)日立製作所, アバナード(株)
(6社)

特別協賛 さくらインターネット(株), 富士通(株), (株)トヨタコミュニケーションシステム, (株)インテリジェントウェイブ, ネクストウェア(株), (株)シーエーシー, (株)FIXER, ウェルネット(株), (株)Blueship, (株)フォーラムエイト, アドバンスドプランニング(株), (株)フィックスターズ, (株)Preferred Networks, ドコモ・システムズ(株), アスクル(株), BEENOS(株), ピクシブ(株)
(17社)

一般協賛 セイコーエプソン(株), アイフォーコム(株), (株)ワコム, ヤフー(株), ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株), (株)ルクレ, 富士ソフト(株), アイ・システム(株), (株)エヌ・ティ・ティ エムイー, メディア総研(株), オープンテクノロジー(株), (株)タイムインターメディア, ナレッジスイート(株), (株)jig.jp, TDC ソフト(株), (株)アカツキ, ファスフォードテクノロジー(株), NCS&A(株), (株)タブチ, (株)メンバーズ, (株)インフォコム西日本, (株)エイジング, JBSテクノロジー(株), (株)クレスコ, (株)ワイズ
(25社)

大会役員

大会会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会会長
 但野 茂 (函館工業高等専門学校長)
副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長
 小島 知博 (サレジオ工業高等専門学校長)
副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長
 東 健司 (大阪府立大学工業高等専門学校長)
副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長
 後藤 景子 (奈良工業高等専門学校長)
副会長 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会理事長
 堀内 征治 (長野工業高等専門学校名誉教授)
副会長 第30回大会主管校校長
 岩佐 健司 (都城工業高等専門学校長)
副会長 第29回大会主管校校長
 寺沢 計二 (阿南工業高等専門学校長)

1.2 参加者

予選において全国高専から選抜された作品の制作学生及び指導教員

- | | |
|----------|--------|
| (1) 課題部門 | 20 チーム |
| (2) 自由部門 | 20 チーム |
| (3) 競技部門 | 59 チーム |

NAPROCK 国際プログラミングコンテストに参加する海外チーム

海外チーム 7ヶ国 8 チーム

- ・競技部門：ハノイ国家大学工科大学(ベトナム)
- ・競技部門：モンゴル科学技術大学(モンゴル)
- ・競技部門：ペトロナス工科大学 (マレーシア)
- ・競技部門：香港 VTC (中国)
- ・自由部門：シンガポールポリテクニク (シンガポール)
- ・自由部門：キングモンクット工科大学ラカバン校 (タイ：久留米高専招聘)
- ・自由部門：国立聯合大學 (台湾：阿南高専招聘)
- ・自由部門：トゥンク・アブドゥル・ラフマン大学 (マレーシア)

競技アイデア募集企画の応募チームから選抜された作品のチーム

10 チーム

1.3 審査委員

審査委員長

神沼 靖子 一般社団法人 情報処理学会 フェロー

審査委員

安間 裕	アバナード(株) 代表取締役社長
泉 泰一郎	東芝デジタルソリューションズ(株) ICT インフラサービスセンター参事
伊藤 翼	(株)FIXER
稲見 昌彦	東京大学先端科学技術研究センター 教授
井場 辰彦	(株)シーエーシー サービスプロデューサー
今井 一範	アドバンスドプランニング(株) 代表取締役
臼井 支朗	豊橋技術科学大学 名誉教授
内山 陽介	アスクール(株) テクノロジーオフィサー
梅村 恭司	豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授
漆原 明尚	BEENOS(株) 技術顧問
及川 光隆	(株)Blueship IT サービス統括部 部長代理
大岩 元	慶應義塾大学 名誉教授
大成 崇幸	ネクストウェア(株) サブグループリーダー
小野 和俊	(株)セゾン情報システムズ CTO
斎藤 浩	(株)日立製作所 セキュリティ事業統括本部 統括本部長
笹岡賢二郎	一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会 専務理事
佐々木佳祐	ピクシブ(株) コミック事業部事業部長 エンジニア職
佐野 裕昭	(株)フォーラムエイト システム開発グループリーダー
城倉 和孝	合同会社 DMM.com CTO
杉田 泰則	長岡技術科学大学 電気電子情報工学専攻 准教授
田村 哲也	チームラボ(株) 取締役 CTO
鳥居 宏行	NHK放送センター 放送技術局 メディア技術センター クロスメディア部部長
中川 智	(株)トヨタコミュニケーションシステム ビジネスシステム本部 BS5 部部長

林 直樹 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 本部長代理
 星野晃一郎 (株)ダンクソフト 代表取締役兼 CEO デジタルアーキテクト
 松澤 照男 北陸先端科学技術大学院大学 理事・副学長
 宮地 力 東京大学大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻石川・妹尾研究室特任研究員
 山本 祥之 (株)インテリジェントウェイブ 特別顧問
 吉田 育代 フリーランスライター
 鷺北 賢 さくらインターネット(株) さくらインターネット研究所所長

[マニュアル審査]

久保 慎一 ネクストウェア(株)
 津曲 潮 (株)デザイン・クリエイション 顧問

(五十音順 敬称略)

1.4 会場案内

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。

詳細な会場案内については付録1の会場案内図またはプロコン公式サイトをご覧ください。

1. 開会式・閉会式会場	多目的ホール：手前可動席側
2. 課題部門プレゼン会場	1階 第3会議室（1日目）
3. 自由部門プレゼン会場	1階 第1会議室（1日目）
4. 課題・自由部門デモ会場	多目的ホール：奥ステージ側
5. 競技部門会場	多目的ホール：手前可動席側
6. プロコン委員控室	2階 第5会議室
7. 審査委員室（審査室）	2階 第4会議室
8. 表彰準備室	2階 第5会議室
9. 課題・自由部門審査員休憩室	1階 第2控室（2日目）
10. 競技部門関係者控室	1階 第1控室
11. 競技部門参加学生控え席	1階 可動席
12. 競技部門準備教職員・学生控室（主管校）	1階 第2会議室
13. 参加学生荷物置場	1階 第1会議室（2日目）
14. 海外チーム控室	1階 第2控室（1日目）
15. 主管校大会本部	1階 エントランスホール
16. 報道関係者控室	2階 第3控室
17. 校長・来賓控室	1階 第2会議室
18. 文科省来賓控室	2階 第5控室
19. 主管校教職員控室	2階 第5会議室
20. 協賛企業控室	2階 第4控室
21. 協賛企業展示	多目的ホール：奥ステージ側
22. 主管校展示	多目的ホール：奥ステージ側
23. 主管校企画	1階ふれあい広場， 2階ホワイエなど

24. 学生交流会	多目的ホール：手前可動席側（1日目 17:00）
25. 総合受付	1階 エントランスホール
26. 昼食配布場所	1階 エントランスホール
27. 救護室	1階 救護室
28. デモ用梱包物置き場	1階 第2搬入口
29. 主管校準備学生控え席	2階 固定席
30. 阿波踊り（天水連）控室	3階 第2特別会議室

1.5 日程

10月26日（金）参加者受付

17:00～18:30 アスティとくしま エントランスホールで受付を行います。

（受付場所は、「付録1 会場案内図」をご覧ください。また徳島駅と会場間のバスの運行表、運賃、乗降場所などについてはプロコン公式サイトに公開いたしますので確認してください。）

※ 各チームの引率教員および代表学生1名が受付し、名札、配付資料を受領してください。

10月27日（土）

- やむを得ず当日受付を希望するチームは、全国高専第29回プロコン委員会事務局（「1.14 問い合わせ先」参照）に10月24日（水）10時までにご連絡ください。

	課題・自由部門	競技部門	競技アイデア募集企画	学校企画
8:00	（開場予定時刻 8:00）			
9:00	8:30～8:40 参加者連絡会議 （1階 第1会議室） 8:40～9:05 システム搬入チェック	8:30～8:50 参加者連絡会議 （多目的ホール： 手前可動席側）	8:30～9:05 システム等 の準備	9:00～ 17:00 中学生ロボコン （2階 研修室 1, 研修室2, 展示ギャラリー）
10:00	9:20～10:00 開会式（多目的ホール：手前可動席側）			
11:00	10:10～16:51 プレゼンテーション審査 （課題部門：1階 第3会議室） （自由部門：1階 第1会議室）	10:10～11:30 予行演習 （多目的ホール： 手前可動席側）	10:10～ 16:50 一般公開	小学生対象公 開講座 （2階 学習室, ホワイエ, 託児 室前ロビー）
12:00	10:10～10:40 システムセッティング （多目的ホール：奥ステージ側）		10:30-11:30 14:00-15:00 審査 コアタイム	理系女子裾野 拡大コラボプ ロジェクト （2階 第6会 議室）
13:00	10:40～16:50 デモンストレーション 一般公開 （多目的ホール：奥ステージ側）		（多目的ホール： 奥ステージ側）	
14:00		12:30～16:50 予選リーグ戦 （多目的ホール： 手前可動席側）		
15:00				
16:00				
17:00	17:00～18:30 学生交流会（多目的ホール：手前可動席側）			
18:00	18:30～20:30 情報交換会（ホテルクレメント徳島）			

10月28日(日)

	課題・自由部門	競技部門	競技アイデア 募集企画	学校企画
8:00	(開場予定時刻 8:00)			
9:00	8:05 ~ 8:15 参加者連絡会議(1階 第1会議室)	8:05 ~ 8:20 参加者連絡会議 (多目的ホール： 手前可動席側)	8:15 ~ 8:45 システムセ ッティング	9:00~17:00 SMART (2階 研修室 1, 研修室2, 展示ギャラ リー)
10:00	8:15 ~ 8:45 システムセッティング		8:45~14:00 一般公開	
11:00	8:45 ~ 12:00 デモンストレーション審査	8:30 ~14:00 敗者復活戦	10:30-11:30 審査	
12:00	マニュアル審査	決勝トーナメント	コアタイム (多目的ホー ル:奥ステー ジ側)	
13:00	9:00 ~ 14:00 デモンストレーション 一般公開 (多目的ホール：奥ステージ側)	(多目的ホール： 手前可動席側)		
14:00	14:00~14:30 システム梱包・業者引き渡し		14:00~14:30 システム梱 包・業者引き 渡し	
	14:00~14:30 名刺クエスト：学生企業交流会(多目的ホール：奥ステージ側)			
	14:30~15:00 阿波踊り			
15:00	15:10~16:30 閉会式(多目的ホール：手前可動席側)			

1.6 提出書類等

[1] 9月7日(金)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、平成30年8月24日(金)から9月7日(金)までの期間に、proconapp.com から提出してください。各書類の提出に当たっては、チェックリストにより内容を確認し、不備のないようにしてください。

(1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配付するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載されている本選概要の執筆要項及び見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「発表要旨」を、競技部門の本選出場チームは「システム概要」をそれぞれ提出してください。図や写真については、カラーで印刷されますので効果的に使用してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしくお願い致します。なお、PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) システム等の調書

システム等の調書は proconapp.com の入力フォームに従って登録してください。特に、課題・自由部門の参加者は、会場の設営に必要な情報ですので、「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。デモンストレーション会場においては、必要に応じてインターネット接続環境を準備します。また、競技部門ではシステム等の調書に記載されていない機材は、競技部門会場への持ち込みを制限することもあります。詳細についてはプロコン公式サイトでお知らせします。

[2] 10月17日(水)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の資料を、平成30年10月10日(水)から10月17日(水)までの期間に、proconapp.com から提出してください。

規定外のものが提出されると失格となる場合がありますので十分に注意してください。また、締切後の書類の差替えなどは認めません。

【各部門共通】

(1) 著作物等の扱いに係わる同意書(各チーム1通)

- 「1.8 著作物等の扱いについて」に記載した内容(著作物等の利用に関する許諾)について、チームごとにPDF形式で提出してください。
- 同意書は、プロコン公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されている指導教員及び学生全員が署名し提出してください。

(2) 緊急連絡先の登録

- proconapp.comの入力フォームに従って、引率教員と学生1名(代表学生)の連絡先(携帯電話の番号等)、宿泊先、宿泊日、補助学生も含めた総人数、借り上げバスの有無など(補助学生も含めた総人数、借り上げバスの有無についてはコメント欄に記述してください)をご登録ください。
- 登録された内容は第29回大会の緊急連絡にのみ使用し、大会終了後破棄します。

(3) チーム紹介動画の登録

- チームメンバーを紹介する15秒前後の動画提出をお願いします。
課題・自由部門は音声有り、競技部門は音声無しをお願いします。
- 本動画ファイルは会場からのライブ配信等に使用するもので、審査結果には影響しません。各チームの特徴などをアピールしてください。
- 撮影後にPremiereやFinal Cut等で編集しても構いません。
- 時間を超過する場合や不適切な表現が含まれる場合等、再提出を依頼することがあります。
- 解像度は640×480ピクセル以上、1920×1080ピクセル以内とします。
- 動画コーデックはH.264ビデオかMPEG-4ビデオのいずれかとします。
- コンテナファイルの拡張子は*.m4v, *.mp4, *.mov, *.mpg, *.wmvのいずれかとします。
- ファイルサイズは100MB以内とします。
- 上記の要件を満たすファイルを作成し、OS付属のソフト(Windows 10なら「映画&テレビ」アプリ、Windows 7/8.1なら「Windows Media Player」アプリ、macOSなら「QuickTime Player」)で再生できることを確認のうえ提出してください。

【課題・自由部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したもの、またはgithub.comのURLを提出してください。
- PDFで提出する場合はプロコン公式サイトから指定の表紙をダウンロードし、必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 本選では、提出されたPDFファイルまたはgithubのリポジトリを審査委員が直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) 操作マニュアル

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。

- 操作マニュアルは、表紙を含め12ページ以内で作成してください。
- 本選では、このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が実際に操作します。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

【競技部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したもの、またはgithub.comのURLを提出してください。
- PDFファイルで提出する場合は指定の表紙を必ず付け、部門名、登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 本選では、提出されたPDFファイルまたはgithubのリポジトリを審査委員が直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) システム詳細説明書

- システム詳細説明書は競技部門の審査に使用します。
- 様式に従いA4用紙1ページとし、PDFに変換したものを提出してください。
- プロコン公式サイトから所定の様式をダウンロードし、登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、高専名を記入してください。
- 問題解決へのアプローチ、システム構成、特徴などが審査委員にわかるように記述してください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

【競技アイデア募集企画】

(1) 著作物等の扱いに係わる同意書

- 「1.8 著作物等の扱いについて」に記載した内容(著作物等の利用に関する許諾)について、チームごとにPDF形式で提出してください。
- 同意書は、プロコン公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されているチーム代表者及びチームメンバー全員が署名し提出してください(高専チームの場合は指導教員を代表者としてください)。

(2) 緊急連絡先の登録

- 競技アイデア募集企画の緊急連絡先フォーム (<https://goo.gl/DAS8pY>) に従って、代表者の連絡先(携帯電話の番号等)、宿泊先などをご登録ください。
- 登録された内容は第29回大会の緊急連絡にのみ使用し、大会終了後破棄します。

1.7 知的財産権の侵害について

作品の制作及び発表にあたっては、知的財産権の侵害のないように十分にご注意ください。従来の例では、

- キャラクタの無断利用
- 音楽・映像の無断利用
- 文献等からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は、知的財産権についての理解が不十分なことも多いと思われるので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

1.8 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・映像等の著作物については以下のように扱いますので、あらかじめご了承ください。もし支障がある場合には、プロコン委員会事務局へご連絡ください。

- 応募時に提出していただいた書類(作品紹介、応募内容ファイル)、9月7日(金)締切で提出していただくパンフレット原稿(発表要旨、システム概要)、10月17日(水)締切で提出していた

だく資料(ソースリスト, 操作マニュアル, システム詳細説明書, チーム紹介動画)は, コンテスト終了後, プロコン公式サイト等で全部もしくは一部を公開する場合があります。

- 課題・自由部門のプレゼンテーション及びデモンストレーションをビデオ撮影します。撮影したビデオ及びプレゼンテーション用データを高専の教材として使用する場合があります。
- 本選期間中, コンテストの様相や参加チーム毎のスナップ写真を撮影します。これらの画像はプロコン公式サイト等で公開及びプロコンパンフレット等に掲載する場合があります。
- 本選の様相・結果をインターネット経由で公開する予定です。
- 例年通り, 記録ビデオを撮影・編集し, DVD 等で配付するとともにプロコン公式サイト等で公開します。
- 本選期間中に撮影された写真やビデオ類は, 全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動に使用されることがあります。
- 競技アイデア募集企画に応募されたアイデアやシステムを競技部門で使用することがあります。また使用するにあたり, 必要に応じて改変することがあります。

1.9 表彰について

閉会式では, 表彰が行われます。表彰では以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	優勝 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞
優秀賞	優秀賞	準優勝
特別賞	特別賞	第三位
敢闘賞	敢闘賞	特別賞

- 課題・自由部門全チームの代表者及び競技部門入賞チームの各代表2名は, 14時15分までに大ホール客席の指定座席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。
- プロコンに多大な貢献をいただいている協賛企業から企業賞が贈呈されます。
- 本大会と同時にNAPROCK国際プログラミングコンテスト(<http://www.naprock.jp/?p=36921>)を開催します。海外及び国内の大学からの参加チームを含めて優秀なチームには, 以下の各賞が授与されます。(ただし, 本大会についてはNAPROCK国際プログラミングコンテスト課題部門の表彰はありません)

課題部門	自由部門	競技部門
国際最優秀賞 Grand Prize	国際最優秀賞 Grand Prize	国際優勝 Champion
国際優秀賞 Second Prize	国際優秀賞 Second Prize	国際準優勝 First-Runner-up Prize
国際特別賞 Special Prize	国際特別賞 Special Prize	国際特別賞 Special Prize

- 競技アイデア募集企画に参加したチームで, 優秀なチームには以下の各賞が授与されます。

競技アイデア募集企画
最優秀賞
優秀賞
審査員特別賞

1.10 宿泊・昼食・情報交換会及び会場への交通

宿泊についての申込み締切は、8月31日(金)24時です。参加登録受付システム(<https://va.apollon.nta.co.jp/procon2018/>)にて申込みください。参加登録受付システムについては、予選後に送付した「参加登録・宿泊・お弁当・その他のご案内」に詳細な申込み方法が記載されておりますので、ご参照ください。なお、参加登録・昼食・情報交換会の事前申込みをしていないチームは速やかに登録してください。昼食、宿泊等の申し込みが不要でも参加登録は必ず実施願います。

宿泊

学生及び引率教員の宿泊は徳島市内のホテルを予定しています。

昼食

事前に予約された昼食は、学校毎に配付します。飲食は、ロビーのソファや会館内外のベンチなどをお願いします。なお、多目的ホール可動席での飲食は厳禁です。

情報交換会

10月27日(土)の18:30~20:30、「ホテルクレメント徳島」(〒770-0831 徳島県徳島市寺島本町西1丁目61番地 TEL:088-656-3111 FAX:088-656-3132)において情報交換会を開催します。参加費用は一人5,000円です。移動は、マイクロバスを利用する予定です。指導教員は、是非ご参加ください。

これらの件に関するお問い合わせは、下記の旅行代理店担当者へ直接連絡してください。

日本旅行 西日本MICE(マイス)営業部

担当: 西住・東房

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル5F

TEL: 06-6342-0230 FAX: 06-6342-0232 Email: ec_gakkai@nta.co.jp

営業時間: 平日9:45~17:45 (土日祝休)

1.11 学生交流企画について

参加者同士の交流を促進するため、以下のような企画の実施を予定しています。

(1) 大喜利大会

10月27日(土) 17:00~18:30 学生交流会 多目的ホール: 手前可動席側にて豪華賞品も用意しておりますので、是非参加ください。

詳細については、別途ご案内します。

1.12 会場使用上の注意点について

付録1に会場案内図を添付します。ご参照ください。

- 飲食は、会館内外のベンチ、ロビーのソファ等でお願いします。なお、多目的ホール可動席での飲食は厳禁です。
- 指定場所で飲食する場合は椅子等を汚さないように注意願います。万が一、汚した際は、本部へ連絡願います。
- ゴミは必ず持ち帰ってください。

1.13 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材を受けた場合は、明るく活発な高専のイメージが出るよう、ご協力をお願いします。
- 本コンテストは、協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方、主管校の教職員や学生等、多くの方々からのご支援を受けて開催されています。学生諸君は、感謝の気持ちを忘れないよう

にしてください。

- 参加学生の服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場、デモンストレーション会場、競技部門会場、開・閉会式会場では、必ずスマートフォン等はマナーモード等の着信音の出ない状態に設定してください。

1.14 問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、必ず指導教員を介して下記へお願いします。

【問い合わせ】

全国高専第29回プロコン委員会事務局
阿南工業高等専門学校 学生課学生係（担当：山田）
〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木 265
Tel:0884-23-7134 Fax: 0884-22-4232
E-mail: jimu29@procon.gr.jp

2. 課題・自由部門・競技アイデア募集企画についての連絡事項

2.1 システムの搬入・搬出について

- システムの搬送方法については、参加登録の Web ページで案内した通りです。参加登録時にシステム搬送を申込みされた参加校は、8月末までに各校からフリーダイヤル（0120-01-9625）へ連絡し最寄のヤマト運輸支店と搬送物品や搬送方法について事前に打ち合わせを行ってください。
- システム搬送にあたっては、同封した伝票を利用してください。不足する場合は、各チームで伝票をご用意いただき同じ宛先を記入してください。
- システム搬送中の破損事故を防止するため、担当業者と十分に相談してから、発送してください。梱包は依頼者側で行い、見易い位置に梱包識別票（3箇所程度）を必ず貼付してください。
- 搬送物は業者によって、10月26日（金）の夕方までにデモンストレーション会場である、アスティとくしまの多目的ホール（奥ステージ側）に搬入されます。参加チームは、搬入された物品の確認を、10月27日（土）の8:30よりデモンストレーション会場で行ってください。なお、10月26日（金）に開梱することは出来ません。
- 搬出については、10月28日（日）の14:00～14:30の間に梱包の上、同封した着払いの返送用伝票と梱包識別票を貼付して、撤収場所にて配送業者（ヤマト運輸）に引き渡してください。撤収場所は、「付録1 会場案内図」をご覧ください。
- 梱包識別票は、proconapp.com からダウンロードできますので、ご利用ください。

2.2 プレゼンテーションについて

（1）プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどの口頭発表を審査します。
- 発表は一人で行うものとします。
- 1テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。
- 設置するプロジェクトで接続可能なコネクタは「HDMI」が使用可能です。なお、スクリーンは1面のみ利用可能です。スクリーンサイズはW2400 mm×H1800 mm（4:3）です。
- 10月26日（金）夕方の受付時に接続確認を行うことができます。
- パソコン接続及び操作は、発表チームの学生が行ってください。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使

用は認めます。

- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、7月2日(月)付で送付しました予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。
- (2) プレゼンテーション審査のタイムテーブル
- 付録3, 付録4にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意の上、遅れないように準備してください。
- (3) プレゼンテーション審査についての注意事項
- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
 - 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
 - 発表は8分、質疑応答は4分です。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴、終了です。発表の途中であっても、8分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
 - 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。
 - ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

2.3 デモンストレーションについて

- (1) システム搬入チェック【10月27日(土) 8:40~9:05】
- 搬入された荷物は各ブースに置いてあります。
 - 荷物の個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。
- (2) システムセッティング【10月27日(土) 10:10~10:40, 10月28日(日) 8:15~8:45】
- ブースの配置と展示スペースの概略寸法は付録5を参照してください。
 - システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
 - 各作品は、机や発表者の椅子なども含めて幅 192cm, 奥行 180cm, 高さ 210cm の範囲内にセッティングしてください。発表者もこの範囲内でデモを行ってください。なお、机は幅 180cm, 奥行は 45cm(机 1 台)または 90cm(机 2 台)です。標準は机 2 台としますが、システム等の調書で 0~2 台を選択することができ、椅子についても 0~2 脚を選択できます。
 - 展示ブースの壁は幅 192cm, 高さ 240cm 程度(ただし、下 70cm は机を設置した場合には見えなくなるので注意が必要)です。パーテーションへの資料の固定にセロハンテープ等粘着性のあるもの及びネジがついた埋め込み式の止め具は使用できません。ポスターなどの掲示には、S 字フックなどを利用してください。この場合、吊り下げのためのチェーン、紐等、展示に必要な物品・道具は主催者側では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。
 - システム搬入に使用した“段ボール箱など”は、机の下に置いてください。納めることができない場合には、大会スタッフの指示に従って、所定の置き場に整理・整頓して納めてください。なお、机の下に置く場合は来場者から見えないように工夫してください。白のテーブルクロスを主催者側で準備しますので、必要な場合は利用してください。
 - ブースあたり最低 500W の電源を用意します。1 チーム 500W 程度に収まるよう、作品を工夫してください。消費電力過剰による停電等が起きた場合、全チームに迷惑をかける場合があります。500W を明らかに超える場合は、バッテリー電源等、自家電源を用意してください。万が一停電等が原因で、作品に異常が発生し、審査結果に影響を与えた場合でも、主催者側では責任が取れません。バッテリー駆動できないハードウェアがある場合は無停電電源装置を持参するなど、各チームで安全対策を取ってください。消費電力過剰が疑われるチームに対しては、運営側の判断で作品の電源投入を制限する場合があります。各ブースには、電源タップは1個口しかありませ

ん。必要に応じて別途電源タップを各チームで用意してください。

- システムセッティングのときに、システムの消費電力の計測を行う予定ですので、協力をお願いします。
 - 各ブースには必要に応じて、インターネット接続用(対外接続 100Mbps のベストエフォート)の LAN ケーブルを 1 本用意します。
 - さらに、デモ会場内に無線によるインターネット接続(ベストエフォート)を提供する予定です。各ブースで無線 LAN アクセスポイントを設置することは各チームの判断に任せますが、電波混雑により通信に影響がでることも予想されます。タブレット端末等が単にインターネット接続ができればよい場合等はできるかぎり主催者提供のアクセスポイントをご利用ください。できるだけブース内での独自の無線 LAN アクセスポイントの設置を控えていただき、会場内の電波混雑緩和にご協力ください。ただしいずれの場合も、インターネット接続ができなくてもデモができるようにシステムを構築して下さい。
 - 主催者側で用意する無線 LAN 環境は 11a (5GHz 帯) を用意いたします。もし、各チームで無線を用意する場合は 11g (2.4GHz 帯) を利用してください。
 - DHCP 機能を有するブロードバンドルータなどを持ち込む場合は、差込口等を間違えないように気をつけてください。
 - システムの最終調整とブース内の整理整頓を行い、システムの魅力が審査委員や来場者に伝わるようにしっかり準備してください。
- (3) デモンストレーション一般公開【10月27日(土) 10:40~16:50, 10月28日(日) 9:00~14:00】
- デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し実施してください。
 - 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全くの素人の方、年輩の方や子供さんの見学が予想されます。相手に応じた説明を心がけてください。
 - 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査及びマニュアル審査と並行して行います。
 - 各ブースでの審査時は、一般公開での説明などを中断してください。
 - 会場の各作品のブースには、説明者を常時 2 名以上配置してください。昼食などは交代で取り、説明者が不在とならないようにしてください。
 - 学生間はもちろん、協賛企業様などとの情報交換を積極的に行ってください。
- (4) デモンストレーション審査【10月28日(日) 8:45~12:00】
- 審査委員は、グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。
 - 審査時間は、説明時間が2分、質疑応答が5分、計7分を原則としますが、審査委員の指示にしたがってデモンストレーションを進めてください。
 - 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
 - デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員 1 名がつきます。
- (5) マニュアル審査【10月28日(日) 8:45~12:00】
- 提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。
 - 作品の審査時間は、移動を含めた 7 分間です。
 - マニュアル審査は 1 名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員 1 名がつきます。
 - 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
 - マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先とします。
- (6) デモンストレーション審査, マニュアル審査のタイムテーブル

- 付録6にデモンストレーション審査，マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので，進行状況に留意してください。

(7) システムの搬出【10月28日(日) 14:00～14:30】

- デモシステムを梱包し，返送伝票および梱包識別票を貼付して各ブースの机の上に置いてください。
- 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。
- 搬出のための梱包が完了した時点で，搬送業者に引き渡してください。
- “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
- 使用したブースの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
- “後片付け”と“清掃”が完了したら大会スタッフに連絡し，チェックを受けてください。

2.4 本選審査手順について

I. 各審査委員における評定

1. プレゼンテーション審査: A, B, C の 3 段階評価をします。
独創性(最重要), システム開発の技術力(プログラムソースリストを含む), 記述力, 発表能力, 有用性等を総合して評価します。
2. デモンストレーション審査: A, B, C の 3 段階評価をします。
独創性(最重要), 技術力, 有用性, 操作性, 発表能力, 発表揭示, 完成度等を総合して評価します。
3. マニュアル審査: 正確性・記述力に関してそれぞれ 5 段階, 3 段階の評価をします。
正確性: A マニュアルどおりに動作する。
A' マニュアルどおりに動作するが, 説明を受けないと分かりにくい。
B 一部マニュアルどおりに動作しない。
B' マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所かある。
C マニュアルとして不備が目立つ。
記述力: A, B, C の 3 段階評価(わかりやすさなど)

II. 選考の流れ

1. 評定一覧表の作成
一覧表に, 各審査委員からの評定(A, B, C 等)を入力します。
2. 点数換算集計表の作成
プレゼンテーション, デモンストレーションの審査評定は下記のように換算します。
A=6, B=3, C=1; 各部門, 審査委員の評定を合計します。
マニュアルの審査評定は下記のように換算します。
正確性に関しては, A=7, A' =5, B=3, B' =2, C=1
記述力に関しては, A=3, B=2, C=1
プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評定を合計し総合得点とします。
3. 成績順位表の作成
総合得点の高い順にソートし, 順位を算出します。
4. 選考の順序
以下の順序に従い, 審査委員会で審議・合議の上, 判断します。
(i) 最優秀賞, 優秀賞
得点のみの情報を提示し, 上位ノミネートチーム数を決定する。審査委員ごとに, 上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入する。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞(最優秀賞), 優秀賞を決定する(新增沢方式)。
(ii) 特別賞
(i) で最優秀, 優秀に選ばれなかったチームから, 課題部門・自由部門とも 4 チーム以内で選考する。
(iii) 佳作
佳作に該当する作品があるかどうか, 審議する。

※ 残りの作品は敢闘賞となる。

【参考】 新增沢式採点法 <https://ja.wikipedia.org/wiki/新增沢式採点法> (Wikipedia より)

3. 競技部門についての連絡事項

3.1 組み合わせ

予選リーグ戦の組み合わせは、審査委員に厳正にマジックナンバーを決めていただき、それを種としたコンピュータの擬似乱数により決定しました。決定した組み合わせは「付録7 競技組み合わせ」の通りです。予選リーグ戦から決勝トーナメントに進出するチームの組み合わせは、予選リーグ戦終了後に抽選によって決めます。

3.2 競技進行の概要

- 競技は、予選リーグ戦、敗者復活戦、決勝トーナメントにより行います。
- 予行演習・予選リーグ戦は10月27日(土)、敗者復活戦・決勝トーナメントは10月28日(日)に行います。

3.3 競技部門の賞

- 決勝トーナメントでの成績により、高専プロコン競技部門の優勝(文部科学大臣賞)、準優勝、第3位を決定します。
- 応募書類、提出書類及び競技内容から特別賞を選考します。選考方法は競技の順位によらず、アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。
- 国際大会の成績は、海外チームを含めた決勝トーナメントでの順位により決定します。

3.4 予行演習

競技に先立って以下の通り予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時: 10月27日(土) 10:10～

会場: 競技部門会場(多目的ホール: 手前可動席側)

予行演習は1試合10分程度での実施を予定しています。試合の流れを確認するための演習であり、試合終了までの流れを必ず確認してください。予行演習でのターン数は募集要項に示したものより、少なくします。

また、予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議(10月27日(土) 8:30～, 多目的ホール: 手前可動席側)で連絡します。全チーム必ず参加してください。

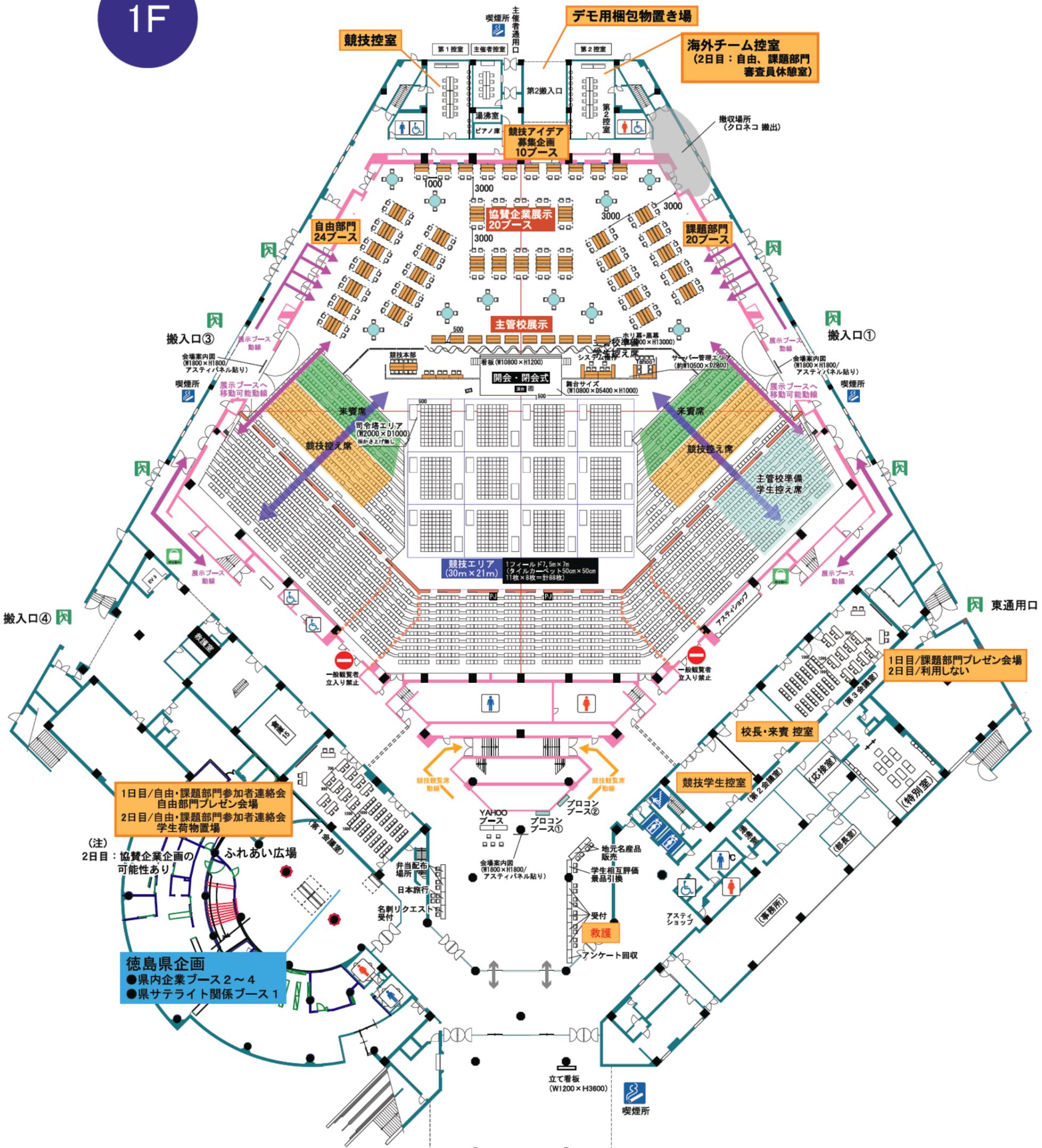
3.5 機材の搬送について

- 競技部門で利用する機材等を搬送する場合は、宿泊先ホテルを宛先としてください。会場へ直接送付しないでください。

3.6 注意事項

- 付録7の組み合わせにあるように、1つの対戦は2チームです。
- 決勝トーナメントの2回戦からは国際大会となり、海外チームが参加します。予選リーグ戦にはこれらのチームがオープン参加しますが、国内チームの決勝トーナメント進出条件には関係ありません。
- 多目的ホール手前可動席側競技フィールドのテーブルには、電源コンセントを準備します。1チームあたり300W程度の利用を想定しています。容量を超えないよう注意してください。
- その他、今後の追加情報等については、随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するようにしてください。

1F

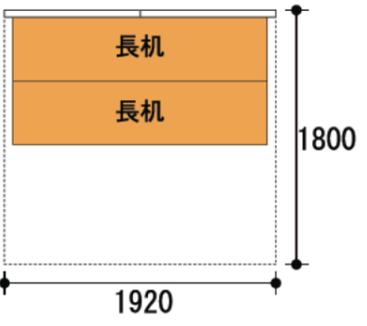


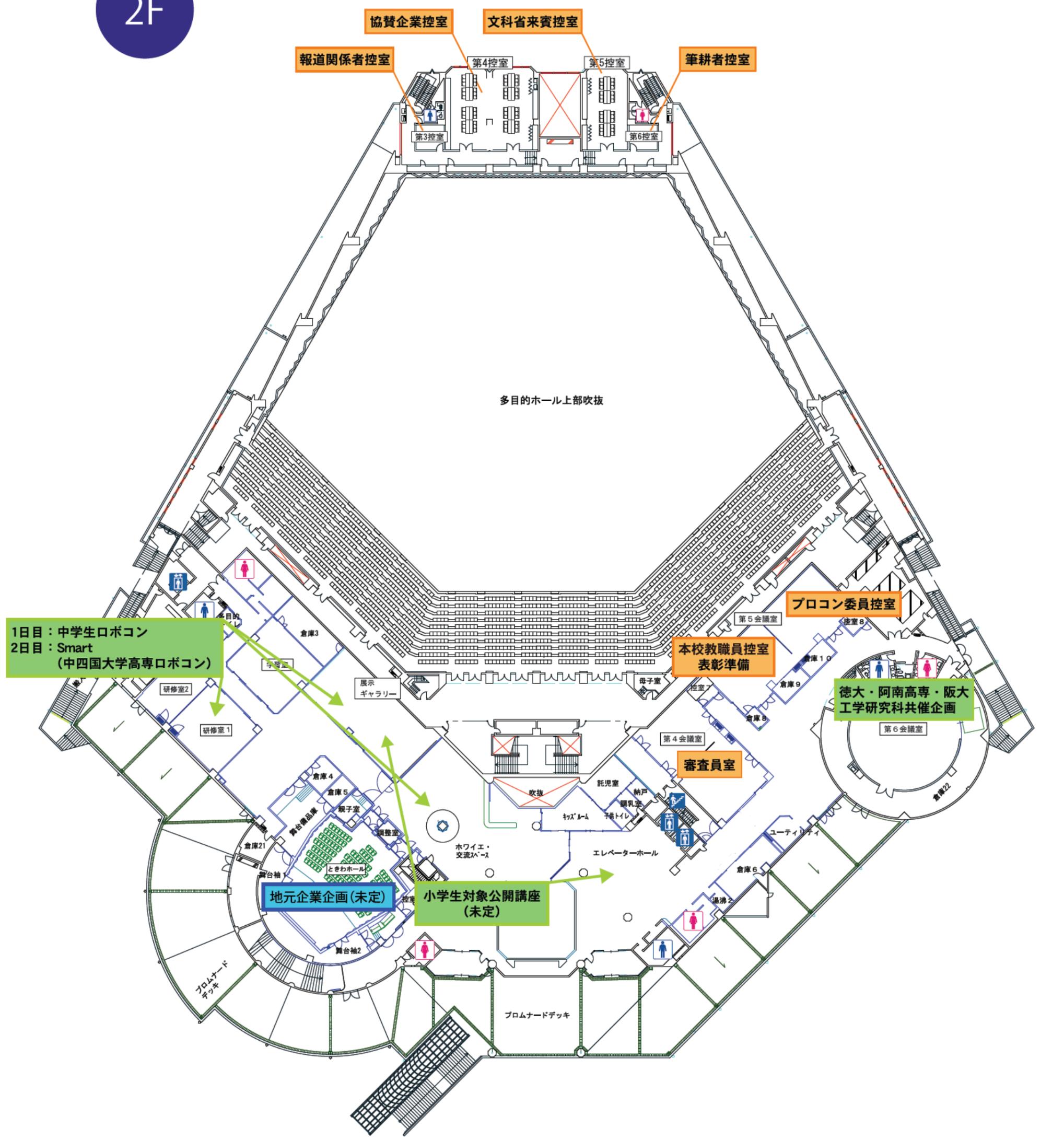
1日目/自由・課題部門参加者連絡会
自由部門プレゼン会場
2日目/自由・課題部門参加者連絡会
学生荷物置場

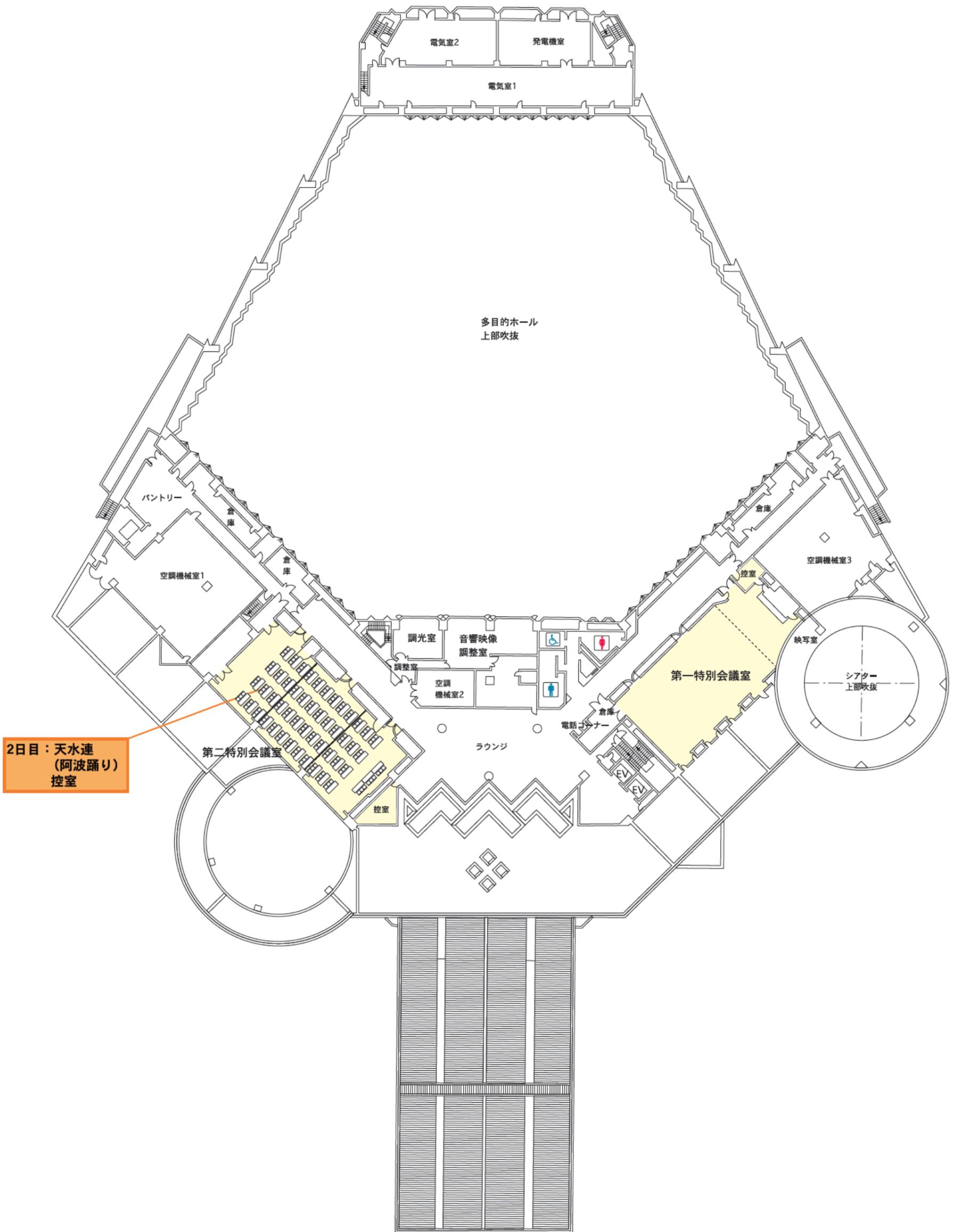
(注)
2日目: 協賛企業企画の
可能性あり

徳島県企画
● 県内企業ブース 2~4
● 県サテライト関係ブース 1

展示ブース
レイアウト









Attractive Space in Tokushima Yamashiro

アスティとくしま

English 中文(簡体字) 한국어

▶ 施設案内MAP ▶ 交通アクセス ▶ お問い合わせ

🔍 検索

🗺️ サイトマップ

トップ

施設情報

交通・周辺情報

予約・料金案内

よくある質問

TOP > 交通・周辺情報

交通・周辺情報

▶ アスティとくしまへのアクセス

▶ 徳島へのアクセス

▶ 駅前周辺駐車場MAP

▶ お役立ちMAP

▶ 宿泊情報(阿波ナビへ)

予約受付はこちら



携帯電話で確認できるホームページをご用意しております。



アスティとくしまへのアクセス

徳島阿波おどり空港より

直接アスティとくしまへお越しの場合はタクシーをご利用ください。
(約30分・約15km ¥3,500ぐらい)

- 徳島バス
(空港前乗り場からJR徳島駅へ 約25分 ¥440)

JR徳島駅より

アスティ徳島の駐車場には限界がありますので、お車でお越しの方は、JR徳島駅周辺駐車場をご利用になり、

バスなどでお越しください。

▶ [駅前周辺駐車場について](#) [バス時刻表](#) (2018年4月1日改定)

- バス 約15分

- ▶ 徳島バス

- ・徳島バス(市営バス 3番乗り場から乗車 料金 210円)

- 「山城町(ふれあい健康館)」行きに乗車し、「文理大学前」で下車後、徒歩約5分(約300m)。→ [時刻表](#) [路線図等](#)

- 「南部循環線(左回り)」に乗車し、「文理大学前」で下車後、徒歩約5分(約300m)。→ [時刻表](#) [路線図等](#)

- ・徳島バス(5番乗り場から乗車 料金210円)

- 「R55バイパス線(あいさい広場生き)」に乗車し、「文理大西口」下車後、徒歩約20分(約1km)。→ [時刻表](#) [路線図等](#)

- タクシー・車(約10分 1,400円程度) ※料金は時間帯やタクシー会社によって多少異なります。

- 徒歩 [最寄の駅からの地図](#)

JR徳島駅からの場合 徒歩で約60分(約3.5km)

JR阿波富田駅からの場合 徒歩で約35分(約2km)

JR二軒屋駅からの場合 徒歩で約30分(約1.8km)





アスティとくしま ⇄ 徳島駅 バス時刻表



2018年4月1日改定版

徳島駅前 市営バス③番乗り場からアスティへ

- 山城町（ふれあい健康館）線
- 南部循環線（左回り）
- ☆ 55号経由（アスティとくしま行・1便のみ）

文理大学前にて下車、徒歩約5分。

平日		土曜・日曜・祝祭日	
● 06 :55	○ 14 :35	● 07 :00	○ 15 :10
● 07 :20	○ 15 :10	● :25	○ :45
● :45	○ :45	● :55	○ 16 :20
● 08 :15	● 16 :00	● 08 :25	○ :55
● :50	○ :20	● :55	○ 17 :35
○ 09 :10	● :35	○ 09 :10	○ 18 :10
☆ :20	○ :55	○ :55	● 19 :00
○ :55	● 17 :05	○ 10 :30	● 20 :00
○ 10 :30	○ :35	○ 11 :05	● :50
○ 11 :05	● :55	○ :40	
○ :40	○ 18 :10	○ 12 :15	
○ 12 :15	● :35	○ :50	
○ :50	● 19 :15	○ 13 :25	
○ 13 :25	● 20 :10	○ 14 :00	
○ 14 :00	● 21 :00	○ :35	

乗車料金 大人 210円、小人 110円
所要時間 約15分（交通事情によって前後します）

徳島バス株式会社 (088) 622-1811

徳島駅前 徳島バス⑤番乗り場からアスティへ

R55バイパス線

文理大西口にて下車、徒歩約20分。

平日		土曜・日曜・祝祭日	
09 :15		09 :15	
10 :45		10 :45	
12 :45		12 :45	
15 :45		15 :45	
18 :30		18 :30	

JR 徳島駅 ホテル クレメント徳島

朝夕の時間帯に臨時シャトルバスを申請中です。運行時間が判明次第HPでお知らせします。



JR 徳島駅前
バス乗り場案内図

徳島駅方面へ

文理大学前から乗車（アスティから徒歩約5分）

平日		土曜・日曜・祝祭日	
06 :57	15 :17	07 :02	15 :33
07 :22	:33	:27	16 :08
:47	:42	:57	:43
08 :12	16 :08	08 :27	17 :18
:48	:32	:57	18 :03
09 :22	:43	09 :27	:43
10 :08	17 :07	10 :08	19 :18
:48	:18	:48	:32
11 :28	:37	11 :28	20 :27
:58	18 :03	:58	
12 :38	:27	12 :38	
13 :13	:43	13 :13	
:48	19 :18	:48	
14 :23	:47	14 :23	
:58	20 :37	:58	

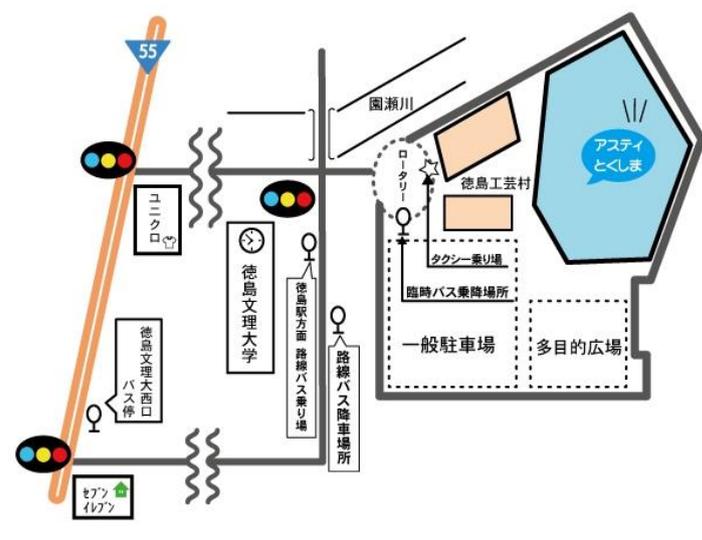
タクシー（アスティ⇄徳島駅）



約1,200円



（走行ルート、交通事情によって異なります）



内町タクシー	(088) 622-1616 0120-27-1616
ノビルタクシーサービス	(088) 663-3888
富田タクシー	(088) 622-5158
東宝タクシー	(088) 662-6198
徳島第一交通	0120-41-8811

※ ロータリーに何台かは常駐しております。

第29回プログラミングコンテスト

課題部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月27日(土) 10:10~16:51
 会場 1階 第3会議室
 発表持ち時間 発表時間8分 質疑応答4分 交代1分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ~ 10:22	FoodConnector -おすそ分けと食材有効利用システム-	豊田
2	10:23 ~ 10:35	MOSAIQ -ワンタイムQRコードによるモバイルスタンプラリー-	東京
3	10:36 ~ 10:48	Snip Memories -来る・見る・学ぶを切り取る図鑑-	福島
4	10:49 ~ 11:01	TechHunt -ICTを活用した異情報管理・活用システム-	木更津

11:01 ~ 11:09 休憩8分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ~ 11:21	Star Gallery -素敵な星空を見に行こう-	阿南
6	11:22 ~ 11:34	リュニオン -観光地域づくりを支えるデジタルサイネージシステム-	一関
7	11:35 ~ 11:47	スマートコンシェルジュ -民泊のためのグローバルシステム-	明石
8	11:48 ~ 12:00	PHOTOS TO HINT -写真を用いた街中観光支援システム-	八戸

12:00 ~ 14:00 休憩120分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
9	14:00 ~ 14:12	ローカルコネクト -町内会向けウェブアプリケーション-	豊田
10	14:13 ~ 14:25	すごろーかる -地域すごろく作成・運営支援システム-	徳山
11	14:26 ~ 14:38	AKAMOKU -水中カメラとドローンによるアカモクの資源管理-	鳥羽商船
12	14:39 ~ 14:51	ACMM -AI Can Make Movie-	岐阜

14:51 ~ 15:00 休憩9分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
13	15:00 ~ 15:12	StampShot	仙台(広瀬)
14	15:13 ~ 15:25	NeXcury -情報のバリアフリー化を目指して-	津山
15	15:26 ~ 15:38	SCOSCOPE -地域を再発見する望遠鏡システム-	徳山
16	15:39 ~ 15:51	サバ×サバ -サバで時代を生き延びる-	福井

15:51 ~ 16:00 休憩9分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
17	16:00 ~ 16:12	TABLETRAY -海鮮丼と醤油が乗るトレイ型デバイス-	釧路
18	16:13 ~ 16:25	SafetyPlus -外国人観光客安全運転サポートシステム-	沖縄
19	16:26 ~ 16:38	やまおくのほそみち -見張り灯籠で安心安全-	阿南
20	16:39 ~ 16:51	WelCing -ICTと「歩く」運動促進システム-	舞鶴

プレゼンテーション審査終了

第29回プログラミングコンテスト

自由部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月27日(土) 10:10~16:51
 会場 1階 第1会議室
 発表持ち時間 発表時間8分 質疑応答4分(海外チーム6分) 交代1分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ~ 10:22	iBird -教室用掲示板-	東京
2	10:23 ~ 10:35	COUPOS -文化祭を盛り上げるWebクーポンとPOSレジ-	木更津
3	10:36 ~ 10:48	わあるど -Wakka! Re learn&Discovery-	香川(詫間)
4	10:49 ~ 11:01	Voy!	長野

11:01 ~ 11:09 休憩8分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ~ 11:21	ぷらねっと -ARを用いた植物栽培教育支援システム-	香川(高松)
6	11:22 ~ 11:34	DHS -Drones Help to Survey-	岐阜
7	11:35 ~ 11:47	どろんふレンズ -目指せIoTマイスター!!-	旭川
8	11:48 ~ 12:00	Mothman -エンジニアに、もっと"Live"なプレゼンを-	鈴鹿

12:00 ~ 12:50 休憩50分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
21 シンガポール	12:50 ~ 13:04	未定	シンガポール
22 キングモンクット	13:05 ~ 13:19	未定	キングモンクット
23 国立聯合	13:20 ~ 13:34	未定	国立聯合
24 トゥンク・アブドゥル・ラフマン	13:35 ~ 13:49	未定	トゥンク・アブドゥル・ラフマン

13:49 ~ 14:00 休憩・審査員移動11分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
9	14:00 ~ 14:12	つながるくん -普通の家電にIoTを足し算するシステム-	苫小牧
10	14:13 ~ 14:25	WITH -見守り機能付き自律移動歩行車-	都立(品川)
11	14:26 ~ 14:38	ポーズでプログラミング -動きで動くロボット-	福井
12	14:39 ~ 14:51	Virtual Rakugaki IOT -ストレス社会に新たな刺激を-	奈良

14:51 ~ 15:00 休憩9分

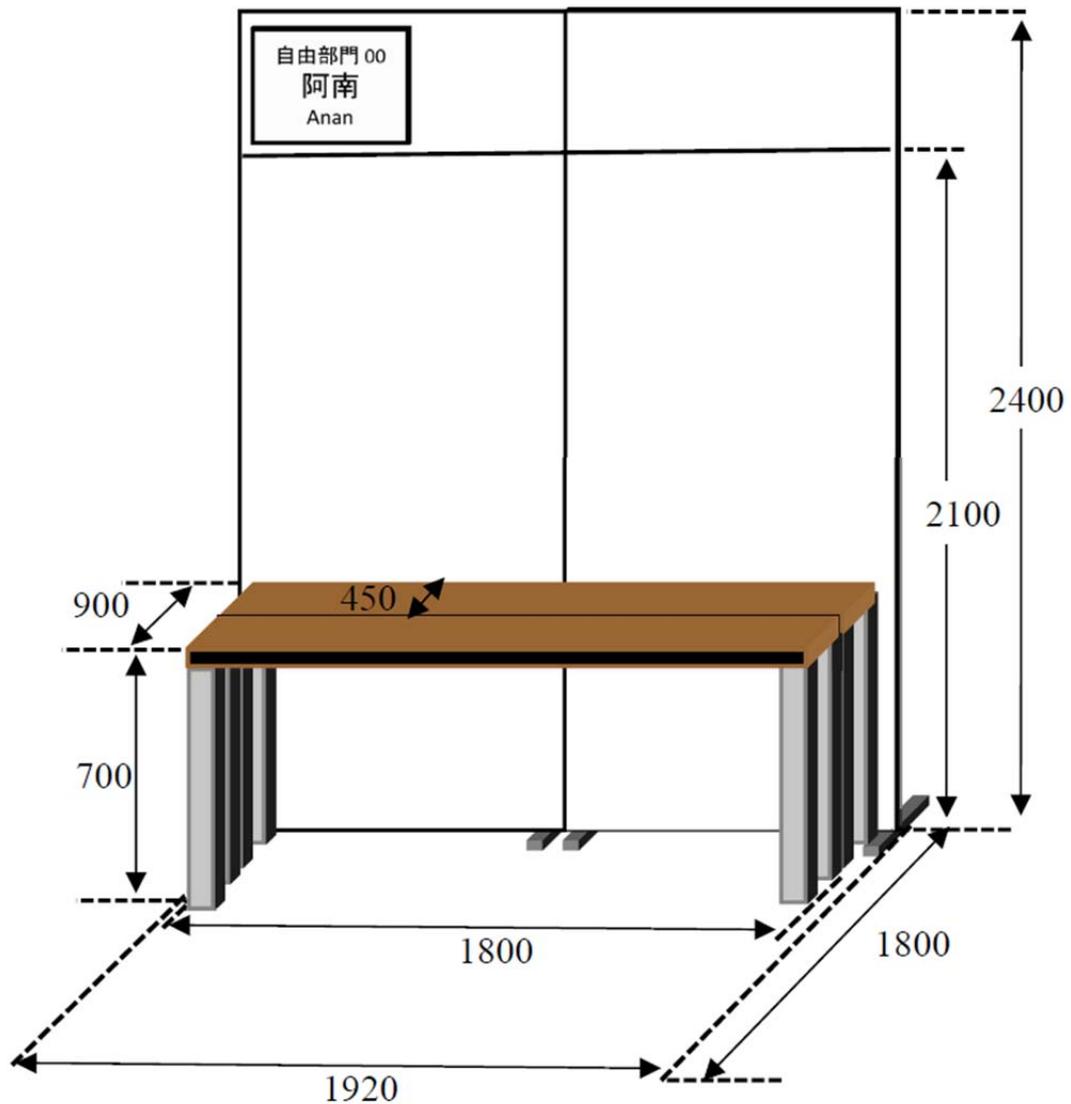
発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
13	15:00 ~ 15:12	まきまき☆マキアートDX	広島商船
14	15:13 ~ 15:25	祭囃子 -VR音響体験拡張装置-	有明
15	15:26 ~ 15:38	UNDO-KAI	鳥羽商船
16	15:39 ~ 15:51	サーモマイスター -IoTでハウス換気判断支援-	阿南

15:51 ~ 16:00 休憩9分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
17	16:00 ~ 16:12	ごみソートver2.0	福島
18	16:13 ~ 16:25	KYO -鏡が見守る今日の私-	都城
19	16:26 ~ 16:38	NEXTPERIECES	熊本(八代)
20	16:39 ~ 16:51	HoloGuide -近未来型駅案内システム-	仙台(広瀬)

プレゼンテーション審査終了

●課題・自由部門 展示スペースの概略寸法



注意事項

- 各ブースは幅 192 cm、奥行き 180 cm、高さ 210 cmです。
- 高さ 210 cm の上部に発表番号と高専名を表示します。
- 展示用パネルは横幅 192 cm、高さ 240 cmです。
- 展示用長机のサイズは幅 180 cm、奥行き 45 cm、高さ 70 cmです。希望により机を 2 台まで使用することができます。長机を使用する場合、掲示パネルの掲示可能領域の高さは 140 cm となります。
- コンセントおよび LAN ケーブルは、机の下に施設する予定です。
- 掲示パネルはテープ類の使用はできません。 画鋲またはフックを使用してください。
- 主催者側で白のテーブルクロスを用意しますので、使用することができます。

第29回プログラミングコンテスト

課題部門・自由部門

デモンストレーション審査&マニュアル審査 タイムテーブル

審査日時 10月27日(日) 8:45~11:58
 会場 多目的ホール:奥ステージ側
 審査時間 7分(説明2分 質疑応答5分 移動を含む)

審査時間	課題部門				自由部門			
	A班	B班	C班	D班	E班	F班	G班	H班
8:45 ~ 8:52	1	6	11	16	1	6	11	16
8:52 ~ 8:59	2	7	12	17	2	7	12	17
8:59 ~ 9:06	3	8	13	18	3	8	13	18
9:06 ~ 9:13	4	9	14	19	4	9	14	19
9:13 ~ 9:20	5	10	15	20	5	10	15	20
9:20 ~ 9:27	6	11	16	1	6	11	16	21 シンガポール
9:27 ~ 9:34	7	12	17	2	7	12	17	22 キングモンクット
9:34 ~ 9:41	8	13	18	3	8	13	18	23 國立聯合
9:41 ~ 9:48	9	14	19	4	9	14	19	24 トゥンク・アブドゥル・ラフマン
9:48 ~ 9:55	10	15	20	5	10	15	20	1
9:55 ~ 10:20	休憩時間(25分)							
10:20 ~ 10:27	11	16	1	6	11	16	21 シンガポール	2
10:27 ~ 10:34	12	17	2	7	12	17	22 キングモンクット	3
10:34 ~ 10:41	13	18	3	8	13	18	23 國立聯合	4
10:41 ~ 10:48	14	19	4	9	14	19	24 トゥンク・アブドゥル・ラフマン	5
10:48 ~ 10:55	15	20	5	10	15	20	1	6
10:55 ~ 11:02	16	1	6	11	16	21 シンガポール	2	7
11:02 ~ 11:09	17	2	7	12	17	22 キングモンクット	3	8
11:09 ~ 11:16	18	3	8	13	18	23 國立聯合	4	9
11:16 ~ 11:23	19	4	9	14	19	24 トゥンク・アブドゥル・ラフマン	5	10
11:23 ~ 11:30	20	5	10	15	20	1	6	11
11:30 ~ 11:37					21 シンガポール	2	7	12
11:37 ~ 11:44					22 キングモンクット	3	8	13
11:44 ~ 11:51					23 國立聯合	4	9	14
11:51 ~ 11:58					24 トゥンク・アブドゥル・ラフマン	5	10	15

注意事項

- ① A班、B班、C班、E班、F班、G班はデモンストレーション審査
D班、H班はマニュアル審査を示す。
- ② 1~20はプレゼンテーション審査の発表順番号の作品を示す。
自由部門の21,22,23,24は海外チームの作品を示す。
- ③ 『シンガポール』は、シンガポールポリテクニクを示す。
- ④ 『キングモンクット』は、タイのキングモンクット大学ラカバン校を示す。
- ⑤ 『國立聯合』は、台湾の國立聯合大学を示す。
- ⑥ 『トゥンク・アブドゥル・ラフマン』はマレーシアのトゥンク・アブドゥル・ラフマン大学を示す

競技部門の組合せ(1)

予選リーグ戦の組合せ

リーグ	記号	チーム
P1	P1-a	米子
	P1-b	長野
	P1-c	岐阜
	P1-d	新居浜

リーグ	記号	チーム
P2	P2-a	福島
	P2-b	神戸市立
	P2-c	久留米
	P2-d	香川(詫間)

リーグ	記号	チーム
P3	P3-a	釧路
	P3-b	小山
	P3-c	弓削商船
	P3-d	旭川

リーグ	記号	チーム
P4	P4-a	群馬
	P4-b	仙台(名取)
	P4-c	熊本(八代)
	P4-d	熊本(熊本)

リーグ	記号	チーム
P5	P5-a	奈良
	P5-b	茨城
	P5-c	函館
	P5-d	長岡

リーグ	記号	チーム
P6	P6-a	明石
	P6-b	高知
	P6-c	鳥羽商船
	P6-d	都立(荒川)

リーグ	記号	チーム
P7	P7-a	香川(高松)
	P7-b	宇部
	P7-c	呉
	P7-d	豊田

リーグ	記号	チーム
P8	P8-a	大分
	P8-b	一関
	P8-c	都立(品川)
	P8-d	広島商船

リーグ	記号	チーム
P9	P9-a	松江
	P9-b	大阪府大
	P9-c	徳山
	P9-d	鶴岡

リーグ	記号	チーム
P10	P10-a	木更津
	P10-b	沼津
	P10-c	沖縄
	P10-d	舞鶴

リーグ	記号	チーム
P11	P11-a	苫小牧
	P11-b	秋田
	P11-c	大島商船
	P11-d	鈴鹿

リーグ	記号	チーム
P12	P12-a	有明
	P12-b	国際
	P12-c	東京
	P12-d	モンゴル科学技術大学

リーグ	記号	チーム
P13	P13-a	津山
	P13-b	八戸
	P13-c	北九州
	P13-d	ハノイ国家大学

リーグ	記号	チーム
P14	P14-a	佐世保
	P14-b	仙台(広瀬)
	P14-c	石川
	P14-d	ペトロナス工科大学

リーグ	記号	チーム
P15	P15-a	富山(射水)
	P15-b	鹿児島
	P15-c	福井
	P15-d	香港VTC

リーグ	記号	チーム
P16	P16-a	都城
	P16-b	阿南
	P16-c	サレジオ

※各リーグ1位のチームが決勝トーナメントに進出します。

※勝敗が同じ場合は合計ポイント数が多いチームを上位とします。合計ポイントが等しい場合、タイルポイントが多いチームを上位とします。合計ポイントもタイルポイントも等しい場合は、サイコロを振って目の数が多い方を上位とします。

※予選リーグには、海外チームがオープン参加します。海外チームの成績は、国内チームの順位に関係ありません。

競技部門の組合せ(2)

予選リーグ戦の対戦表

第1試合

フィールド	記号
A	P1-a
	P1-b
B	P1-c
	P1-d
C	P2-a
	P2-b
D	P2-c
	P2-d
E	P3-a
	P3-b
F	P3-c
	P3-d
G	P4-a
	P4-b
H	P4-c
	P4-d
I	P5-a
	P5-b
J	P5-c
	P5-d
K	P6-a
	P6-b
L	P6-c
	P6-d

第2試合

フィールド	記号
A	P7-a
	P7-b
B	P7-c
	P7-d
C	P8-a
	P8-b
D	P8-c
	P8-d
E	P9-a
	P9-b
F	P9-c
	P9-d
G	P10-a
	P10-b
H	P10-c
	P10-d
I	P11-a
	P11-b
J	P11-c
	P11-d
K	P12-a
	P12-b
L	P12-c
	P12-d

第3試合

フィールド	記号
A	P13-a
	P13-b
B	P13-c
	P13-d
C	P14-a
	P14-b
D	P14-c
	P14-d
E	P15-a
	P15-b
F	P15-c
	P15-d
G	P16-a
	P16-b
H	
I	P1-a
	P1-c
J	P1-b
	P1-d
K	P2-a
	P2-c
L	P2-b
	P2-d

第4試合

フィールド	記号
A	P3-a
	P3-c
B	P3-b
	P3-d
C	P4-a
	P4-c
D	P4-b
	P4-d
E	P5-a
	P5-c
F	P5-b
	P5-d
G	P6-a
	P6-c
H	P6-b
	P6-d
I	P7-a
	P7-c
J	P7-b
	P7-d
K	P8-a
	P8-c
L	P8-b
	P8-d

第5試合

フィールド	記号
A	P9-a
	P9-c
B	P9-b
	P9-d
C	P10-a
	P10-c
D	P10-b
	P10-d
E	P11-a
	P11-c
F	P11-b
	P11-d
G	P12-a
	P12-c
H	P12-b
	P12-d
I	P13-a
	P13-c
J	P13-b
	P13-d
K	P14-a
	P14-c
L	P14-b
	P14-d

第6試合

フィールド	記号
A	P15-a
	P15-c
B	P15-b
	P15-d
C	P16-b
	P16-c
D	
E	P1-d
	P1-a
F	P1-c
	P1-b
G	P2-d
	P2-a
H	P2-c
	P2-b
I	P3-d
	P3-a
J	P3-c
	P3-b
K	P4-d
	P4-a
L	P4-c
	P4-b

第7試合

フィールド	記号
A	P5-d
	P5-a
B	P5-c
	P5-b
C	P6-d
	P6-a
D	P6-c
	P6-b
E	P7-d
	P7-a
F	P7-c
	P7-b
G	P8-d
	P8-a
H	P8-c
	P8-b
I	P9-d
	P9-a
J	P9-c
	P9-b
K	P10-d
	P10-a
L	P10-c
	P10-b

第8試合

フィールド	記号
A	P11-d
	P11-a
B	P11-c
	P11-b
C	P12-d
	P12-a
D	P12-c
	P12-b
E	P13-d
	P13-a
F	P13-c
	P13-b
G	P14-d
	P14-a
H	P14-c
	P14-b
I	P15-d
	P15-a
J	P15-c
	P15-b
K	P16-c
	P16-a
L	

※対戦表中の上段のチームがステージに向かって左側の司令塔を使います。

競技部門の組合せ(3)

敗者復活リーグ戦の組合せ

リーグ	記号	チーム
L1	L1-a	P1-2
	L1-b	P8-3
	L1-c	P9-2
	L1-d	P16-3
	L1-e	P4-4

リーグ	記号	チーム
L2	L2-a	P2-2
	L2-b	P1-3
	L2-c	P10-2
	L2-d	P9-3
	L2-e	P5-4

リーグ	記号	チーム
L3	L3-a	P3-2
	L3-b	P2-3
	L3-c	P11-2
	L3-d	P10-3
	L3-e	P6-4

リーグ	記号	チーム
L4	L4-a	P4-2
	L4-b	P3-3
	L4-c	P12-2
	L4-d	P11-3
	L4-e	P7-4

リーグ	記号	チーム
L5	L5-a	P5-2
	L5-b	P4-3
	L5-c	P13-2
	L5-d	P12-3
	L5-e	P8-4

リーグ	記号	チーム
L6	L6-a	P6-2
	L6-b	P5-3
	L6-c	P1-4
	L6-d	P14-2
	L6-e	P13-3
	L6-f	P9-4

リーグ	記号	チーム
L7	L7-a	P7-2
	L7-b	P6-3
	L7-c	P2-4
	L7-d	P15-2
	L7-e	P14-3
	L7-f	P10-4

リーグ	記号	チーム
L8	L8-a	P8-2
	L8-b	P7-3
	L8-c	P3-4
	L8-d	P16-2
	L8-e	P15-3
	L8-f	P11-4

敗者復活リーグ戦の対戦表

第1試合

フィールド	記号
A	L1-a
	L1-b
B	L1-c
	L1-d
C	L2-a
	L2-b
D	L2-c
	L2-d
E	L3-a
	L3-b
F	L3-c
	L3-d
G	L4-a
	L4-b
H	L4-c
	L4-d
I	L5-a
	L5-b
J	L5-c
	L5-d
K	L6-a
	L6-b
L	L6-c
	L6-d

第2試合

フィールド	記号
A	L1-a
	L1-e
B	L7-a
	L7-b
C	L2-a
	L2-e
D	L7-c
	L7-d
E	L3-a
	L3-e
F	L7-e
	L7-f
G	L4-a
	L4-e
H	L8-a
	L8-b
I	L5-a
	L5-e
J	L8-c
	L8-d
K	L8-e
	L8-f
L	L6-e
	L6-f

第3試合

フィールド	記号
A	L1-d
	L1-e
B	L1-b
	L1-c
C	L2-d
	L2-e
D	L2-b
	L2-c
E	L3-d
	L3-e
F	L3-b
	L3-c
G	L4-d
	L4-e
H	L4-b
	L4-c
I	L5-d
	L5-e
J	L5-b
	L5-c
K	L6-b
	L6-c
L	

第4試合

フィールド	記号
A	
B	L7-b
	L7-c
C	L7-d
	L7-e
D	L7-f
	L7-a
E	
F	
G	
H	L8-b
	L8-c
I	L8-d
	L8-e
J	L8-f
	L8-a
K	L6-f
	L6-a
L	L6-d
	L6-e

※チーム X-Y とは予選Xリーグ、第Y位のチームを表します。

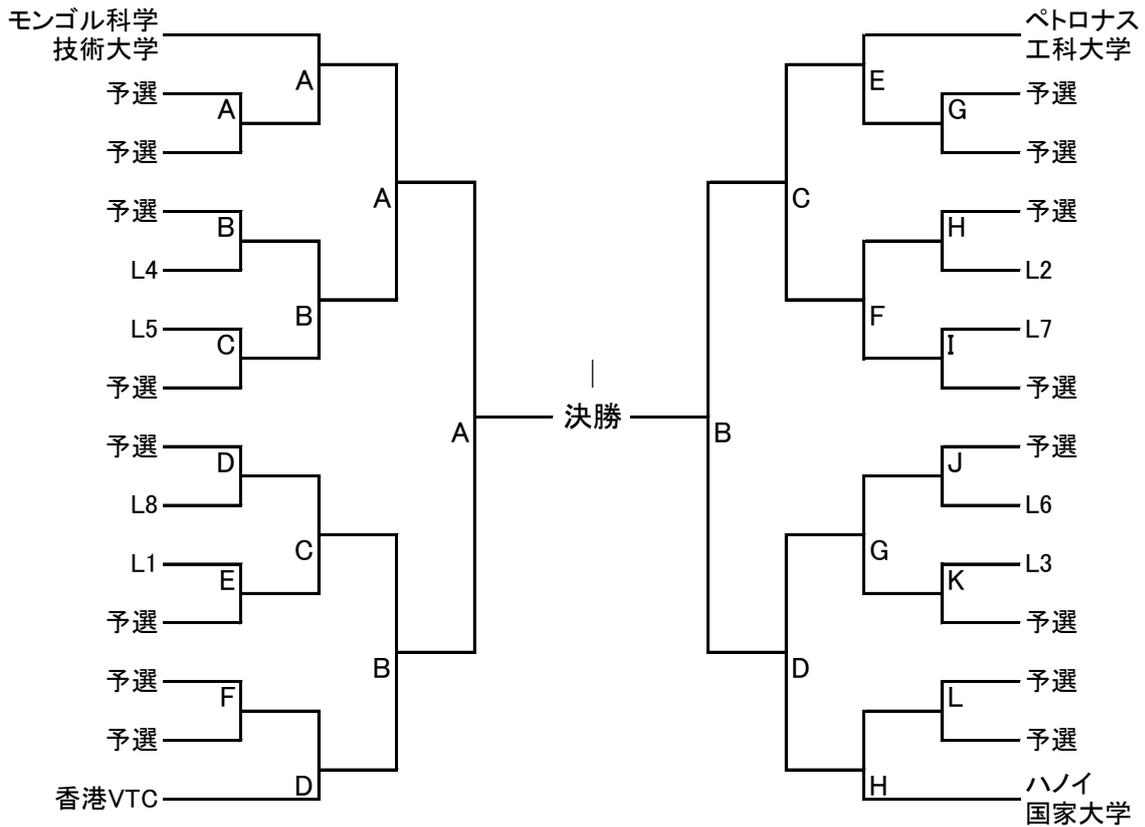
※敗者復活は5、または6チームのリンク・リーグ戦で行い、各リーグ1位のチームが決勝トーナメントに進出します。

※勝敗が同じ場合は、予選リーグと同様に合計ポイント、タイルポイント、サイコロの目によって順位を決めます。

※対戦表中の上段のチームがステージに向かって左側の司令塔を使います。

競技部門の組合せ(4)

決勝トーナメントの組合せ



※「予選」には、予選リーグ戦1位のチームが入ります。いずれのチームが入るかは、予選リーグ終了後に抽選によって決めます。

※L1からL8は、敗者復活リーグ戦L1からL8にて1位になったチームです。

※トーナメントの左側(図の左側では上、右側では下)のチームがステージに向かって左側の司令塔を使います。

※図のAからLはフィールドを表します。1回戦であればAからLまでの12試合が同時に実施されます。2回戦もAからHまでの8試合が同時に行われます。準々決勝・準決勝。決勝も同様です。

※2回戦以降はNAPROCK国際プロコン(国際大会)を兼ねて実施されます。国内チーム・海外チームの区別なく、試合の成績によって国際大会での順位が決まります。

※全国高専プログラミングコンテストの順位は、海外チームを除きます。海外チームが勝ち上がって国内チームの優勝が決まらない場合は、優勝決定戦を行います。

同意書

全国高等専門学校プログラミングコンテスト委員会が、以下の著作物等を以下のような用途及び範囲で利用することを許諾します。

【対象（著作物等）】

- ・ 応募時提出書類（作品紹介または応募内容ファイル）
- ・ パンフレット原稿（発表要旨またはシステム概要）
- ・ プレゼンテーションに用いたファイルおよびデータ
- ・ 操作マニュアル
- ・ プレゼンテーション、デモンストレーション、競技等のビデオ及び写真
- ・ 競技部門の解答データ
- ・ チーム紹介動画

【用途】

- ・ 大会記録
- ・ 主として高専学生を対象とした教材への利用
- ・ マスコミ等への取材協力
- ・ 全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動

【公開範囲】

- ・ プロコン公式サイト
- ・ 記録 CD/DVD
- ・ パンフレット 等
- ・ プロコンのライブ配信 等
- ・ 高専学生用 e-Learning システム 等
- ・ TV、新聞、雑誌等への掲載

上記内容に同意します。

2018年 月 日

高 専 名： _____ 高等専門学校

部 門 名： 課題 ・ 自由 ・ 競技 部門

作品タイトル： _____

署 名（自 署）：

指導教員 _____

学 生 _____

1. はじめに

課題、自由部門は、この雛形ファイルを修正する形でパンフレットでの作品紹介を作成して下さい。Microsoft Word 以外のソフトウェアで作成しても構いませんが、書式やファイル形式を遵守して下さい。

2. 書式について

2.1 用紙サイズについて

作品紹介は必ず A4 版の用紙 1 枚にまとめて下さい。

2.2 段組について

必ず 2 段組として下さい。

2.3 余白について

余白は、左右 25mm、上 55mm、下 25mm とします。

上の余白部分に作品タイトル、高専名、参加学生、指導教員の情報が記載されますので、本文領域には紹介内容だけを書いて下さい。

なお、本文領域内に収まりさえすれば、行数および 1 行あたりの文字数は若干変更があっても構いません。

2.4 フォントについて

章・節・項の見出しは 9 ポイントのゴシック体とし、下線を引いて下さい。章・節・項の構成は自由ですが、読み易くなるように配慮して下さい。

また、本文の文字は 9 ポイントの明朝体とし、図中の文字は 8 ポイント以上とします。図や表のキャプションは 9 ポイントのゴシック体とします。

2.5 ページ番号について

ページ番号は打たないで下さい。

2.6 図・写真について

図や写真は鮮明なものの使用して下さい。PDF ファイルをパンフレット版下として直接用いますので、事前に印刷して内容および画質を十分確認して下さい。

- ・画質としては 300dpi 以上を目安とします。
- ・文字化けを防ぐため、フォントはすべて埋め込んで下さい。

- ・パンフレットはカラー印刷されますので、図や写真はカラー画像を利用していただけれます。ただし、思い通りの色で印刷されないことも考慮して置いてください。

3. 原稿の提出について

3.1 ファイル形式について

原稿は必ずワープロで作成し、PDF ファイルをオンラインのページから提出して下さい。AdobeReader で閲覧可能な形のファイルにして下さい。

オンライン登録システムのページ

<https://proconapp.com/>

3.2 ファイルサイズについて

ファイルサイズは 100MB 以内とします。ファイルの圧縮は認めません。

4. 提出期間

提出期間は 8 月 24 日(金)～9 月 7 日(金)です。

5. その他

見本の執筆例が公式サイトにありますので、参考として下さい。

第29回プログラミングコンテスト

プログラムソースリスト

##部門：発表順番号（登録番号） ##（#####）

タイトル：「#####」

学校名：####高等専門学校

学生氏名：## ##

##

##

##

##

指導教員：## ##

##部門：発表順番号（登録番号） ##（#####）

タイトル：「#####」

学校名：####高等専門学校

学生氏名： ## ##

##

##

##

##

指導教員： ## ##

チェックリスト（課題・自由部門用）

部門名： 課題 自由（○で囲んでください） 発表順番号(登録番号)：_____（_____）

8月24日（金）～9月7日（金）に提出する書類のチェックリスト

下記チェックリストにあがっている事項を十分に確認して下さい。

パンフレット原稿は PDF ファイル、システム等の調書はオンライン登録システム (<https://proconapp.com/>) から登録します。

パンフレット原稿

- 部門に対応した雛形ファイルをダウンロードして修正しました（あるいは、書式を遵守しています）。
- 章・節・項の見出しは9ポイントのゴシック体（下線付き）を使っています。
- 本文は9ポイントの明朝体を使っています。
- Adobe Acrobat Reader DC で閲覧できます（*.pdf）。
- 圧縮せずに、100MB を超えていません。

システム等の調書

- オンライン登録システムから登録しました。

宿泊・昼食・機材輸送・指導教員懇親会・会場への交通

- <https://va.apollon.nta.co.jp/procon2018/> より参加登録しました。
【申し込み期限：8月31日(金)】

10月10日（水）～10月17日（水）に提出する書類のチェックリスト

下記チェックリストにあがっている事項を確認し、四角枠内にレ印を記入して下さい。

プログラムソースリスト

【github で提出する場合】

- プログラムソースが置かれている github の URL を記入しました。

【PDF で提出する場合】

- A4 用紙（縦置き、横書き）です。
- 極端な縮小コピーをしていません。
- プロコン公式サイトからダウンロードした指定の表紙を付けました（発表順と登録番号の両方を記入）。
- Adobe Acrobat Reader DC 等で閲覧できます(*.pdf)。
- 圧縮せずに、100MB を超えていません。

操作マニュアル

- A4 用紙（縦置き、横書き）です。
- 極端な縮小コピーをしていません。
- 起動から終了までの全ての手順をわかりやすく書いています（このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が操作できるようにしています）。
- ページ番号を付けました。
- 12 ページ以内で作成しました。
- プロコン公式サイトからダウンロードした指定の表紙を付けました（発表順番号と登録番号の両方を記入）。
- Adobe Acrobat Reader DC 等で閲覧できます (*.pdf)。
- 圧縮せずに、100MB を超えていません。

同意書

- 参加学生の署名を書きました。
- 指導教員の署名を書きました。
- スキャナ等で PDF に変換し、Adobe Acrobat Reader DC 等で閲覧できました(*.pdf)。

緊急連絡先調書

- 引率教員の氏名及び連絡先を入力しました。
- 学生代表者の氏名及び連絡先を入力しました。
- 宿泊先及び宿泊先の連絡先を入力しました。
- 宿泊予定日を入力しました。
- 補足事項に借り上げバスの有無及び総人数を入力しました。

1. はじめに

競技部門は、この雛形ファイルを修正する形でパンフレットでの作品紹介を作成して下さい。Microsoft Word 以外のソフトウェアで作成しても構いませんが、書式やファイル形式を遵守して下さい。

2. 書式について

2.1 用紙サイズについて

作品紹介は必ず A4 版の用紙 1 枚にまとめて下さい。

2.2 段組について

必ず 2 段組として下さい。

2.3 余白について

余白は、左右 20mm、上 55mm、下 142mm とします。

上の余白部分に作品タイトル、高専名、参加学生、指導教員の情報が記載されますので、本文領域には紹介内容だ

けを書いて下さい。

なお、本文領域内に収まりさえすれば、行数および 1 行あたりの文字数は若干変更があっても構いません。

2.4 フォントについて

章・節・項の見出しは 9 ポイントのゴシック体とし、下線を引いて下さい。章・節・項の構成は自由ですが、読み易くなるように配慮して下さい。

また、本文の文字は 9 ポイントの明朝体とし、図中の文字は 8 ポイント以上とします。図や表のキャプションは 9 ポイントのゴシック体とします。

2.5 ページ番号について

ページ番号は打たないで下さい。

2.6 図・写真について

図や写真は鮮明なものを使用して下さい。PDF ファイルをパンフレット版下として直接用いますので、事前に印刷し

て内容および画質を十分確認して下さい。

- ・画質としては 300dpi 以上を目安とします。
- ・文字化けを防ぐため、フォントはすべて埋め込んで下さい。
- ・パンフレットはカラー印刷されますので、図や写真はカラー画像を利用していただけです。ただし、思い通りの色で印刷されないことも考慮して置いてください。

3. 原稿の提出について

3.1 ファイル形式について

原稿は必ずワープロで作成し、PDF ファイルをオンラインのページから提出して下さい。AdobeReader で閲覧可能な形のファイルにして下さい。

オンライン登録システムのページ

<https://proconapp.com/>

3.2 ファイルサイズについて

ファイルサイズは 100MB 以内とします。ファイルの圧縮は認めません。

4. 提出期間

提出期間は 8月24日(金)～9月7日(金) です。

5. その他

この雛形ファイルは 2 ページに渡っていますが、紹介内容は 1 ページで作成して下さい。パンフレットでは 2 チームの紹介が 1 ページに収まります。

見本の執筆例が公式サイトにありますので、参考として下さい。

第29回プログラミングコンテスト

プログラムソースリスト

競技部門：登録番号 # # # # #

チーム名：「# # # # # # # # # # # # # # # # # #」

学校名：# # # # 高等専門学校

学生氏名： # # # #

 # # # #

 # # # #

指導教員： # # # #

第 29 回競技部門：登録番号

タイトル：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

学校名：○○○○高等専門学校

1. はじめに

競技部門は、この雛形ファイルを修正する形で本選時の審査資料とします。Microsoft Word 以外のソフトウェアで作成しても構いませんが、書式は本サンプルにできるだけ添うようにしてください。

2. 書式について

2.1 用紙サイズについて

作品紹介は必ず A4 版の用紙 1 ページにまとめて下さい。

2.2 段組について

原則として 2 段組として下さい。

2.3 余白について

余白は、左右 25mm、上 30mm、下 25mm とします。

登録番号、作品タイトル、高専名を書いて下さい。

なお、本文領域内に収まりさえすれば、行数および 1 行あたりの文字数は若干変更があっても構いません。

2.4 フォントについて

章・節・項の見出しは 10.5 ポイントのゴシック体とし、下線を引いて下さい。章・節・項の構成は自由ですが、読み易くなるように配慮して下さい。

また、本文の文字は 10.5 ポイントの明朝体とし、図中の文字は 8 ポイント以上とします。図や表のキャプションは 10.5 ポイントのゴシック体とします。

2.5 ページ番号について

ページ番号は打たないで下さい。

2.6 図・写真について

図や写真は鮮明なものを使用して下さい。カラーでも構いません。

3. 原稿の提出について

本選実施要項に従い、オンライン登録システム (<https://proconapp.com/>) より提出して下さい。

チェックリスト（競技部門用）

部門名： 競技部門 登録番号： _____

8月24日（金）～9月7日（金）に提出する書類のチェックリスト

下記チェックリストにあがっている事項を十分に確認して下さい。

パンフレット原稿は PDF ファイル、システム等の調書はシステム等の調書はオンライン登録システム (<https://proconapp.com/>) から登録します。

パンフレット原稿

- 部門に対応した雛形ファイルをダウンロードして修正しました（あるいは、書式を遵守しています）。
- 章・節・項の見出しは9ポイントのゴシック体（下線付き）を使っています。
- 本文は9ポイントの明朝体を使っています。
- Adobe Acrobat Reader DC で閲覧できます（*.pdf）。
- 圧縮せずに、100MB を超えていません。

システム等の調書

- オンライン登録システムから登録しました。

宿泊・昼食・機材輸送・指導教員懇親会・会場への交通

- <https://va.apollon.nta.co.jp/procon2018/> より参加登録しました。
【申し込み期限：8月31日（金）】

10月10日（水）～10月17日（水）に提出する書類のチェックリスト

下記チェックリストにあがっている事項を確認し、四角枠内にレ印を記入して下さい。

プログラムソースリスト

【github で提出する場合】

- プログラムソースが置かれている github の URL を記入しました。

【PDF で提出する場合】

- A4 用紙（縦置き、横書き）です。
- 極端な縮小コピーをしていません。
- プロコン公式サイトからダウンロードした指定の表紙を付けました。
- ページ番号を付けました。
- Adobe Acrobat Reader DC 等で閲覧できます(*.pdf)。
- 圧縮せずに、100MB を超えていません。

システム詳細説明書

- プロコン公式サイトからダウンロードした雛形ファイルを修正しました（あるいは、書式を遵守しています）。
- A 4（縦置き、横書き）1 ページです。
- 問題解決へのアプローチ、システム構成、特徴等をわかりやすく書いています。
- 登録番号・タイトル・高専名が記入されています。
- Adobe Acrobat Reader DC 等で閲覧できます (*.pdf)。
- 圧縮せずに、100MB を超えていません。

同意書

- 参加学生の署名を書きました。
- 指導教員の署名を書きました。
- スキャナ等で PDF に変換し、Adobe Acrobat Reader DC 等で閲覧できました(*.pdf)。

緊急連絡先調書

- 引率教員の氏名及び連絡先を入力しました。
- 学生代表者の氏名及び連絡先を入力しました。
- 宿泊先及び宿泊先の連絡先を入力しました。
- 宿泊予定日を入力しました。
- 補足事項に借り上げバスの有無及び総人数を入力しました。

同意書

全国高等専門学校プログラミングコンテスト委員会が、以下の著作物等を以下のような用途及び範囲で利用することを許諾します。

【対象（著作物等）】

- ・ 応募時提出書類（作品紹介または応募内容ファイル）
- ・ ポスター発表、デモンストレーションに用いたファイルおよびデータ
- ・ ポスター発表、デモンストレーションのビデオ及び写真

【用途】

- ・ 大会記録
- ・ 主として高専学生を対象とした教材への利用
- ・ マスコミ等への取材協力
- ・ 全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動
- ・ アイデアやシステムの競技部門への利用(必要に応じて変更することがあります)

【公開範囲】

- ・ プロコン公式サイト
- ・ 記録 CD/DVD
- ・ パンフレット 等
- ・ プロコンのライブ配信 等
- ・ 高専学生用 e-Learning システム 等
- ・ TV、新聞、雑誌等への掲載

上記内容に同意します。

2018年 月 日

チーム名： _____

(高専チームの場合は高専名を記述してください)

作品タイトル： _____

署名(自署)：

代表者

メンバー

※高専チームの場合は指導教員を代表者として署名をお願いします。

平成 30 年 8 月 2 日

第 2 回名刺クエスト実施のご案内

第 29 回阿南大会においても協賛企業と参加学生・教員の交流促進のため名刺クエストを下記の要領で実施することとなりました。今回は名刺クエストのための時間（10 月 28 日 14:00～14:30）が用意されておりますので、全部門に出場する学生・引率教員のみなさまの積極的なご参加をお待ちいたしております。

記

1. 対象

- ・ 高専プロコンの参加チーム（学生+指導教員）

2. 期間

- ・ 開会式終了後から阿波踊り開始前まで
- ・ 10 月 28 日（日）14:00～14:30 は名刺クエストのための時間とする

3. 評価

- ・ 期間中になるべく多くの企業の方と名刺交換を行う
- ・ 順位付けは（集めた合計の名刺の枚数）÷（エントリー時のチーム人数）
- ・ 複数チーム兼任の指導教員はどのチームに加わるか選択する
- ・ 阿波踊り開始前までに、収集した名刺の枚数の申告を受付で行う

4. 賞品

- ・ 上位 10 チームへの賞品と全参加チームへ参加賞を用意

以上